様式３（2015.06改）

作成日　平成 30年 11月 22日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392000507
事業所名	まちのオアシス グループホーム前田

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	町内会に加入し、回覧板で情報を得たり施設の行事などを紹介したりしている。入居者と職員は町内の運動会やお祭りに参加したり、商店や飲食店などの利用、散歩時に挨拶を交わすなどして地域の一員として日常的な交流をしている。毎年恒例の「RUN伴」や「豊橋まつり」のサテライト会場として施設を開放し、地域の人が立ち寄る場所として交流する機会を大切にしている。中学生の職場体験や体操、歌、楽器の演奏、ドッグセラピーなどのボランティアも受け入れている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	入居者や家族、自治会長、民生委員、防犯協会会長、包括支援センターや市職員の参加を得て年6回実施している。運営状況や活動内容、ヒヤリハットや事故報告は全て開設時からのデーターを表やグラフに表し、参加者にわかりやすく分析した資料で報告している。まちのオアシス新聞を配布し地域との情報の交換が行われている。参加者からの意見や提案等はその場で話し合ったり、記録して会議などで協議しサービスの向上に活かしている。案内や会議録は家族に郵送している。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	行政担当窓口には、介護保険更新手続きや申請の代行業務、サービスの取り組みなどを伝えている。地域の困難事例の受け入れの依頼や相談を行うなど良好な協力関係を築いている。職員は市主催の研修会に積極的に参加し、サービス向上へ繋げるよう努めている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	入居者からは日々の関わりの中から思いを聞いている。意見や要望などは、申し送りノートに記録し、全体会議で検討して情報を共有し運営に反映させている。家族からは面会時や夏祭り、クリスマス会などの行事の折に意見や要望を聞き、ケアや業務改善に役立てている。意見箱を設置して意見を述べやすい環境を整えたり、「まちのオアシス新聞」を毎月発行して、入居者の日ごろの様子を記載し家族に安心を届けている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	－	－	－	－	－	－	－	－	○	○	